

会議録【全文筆記】

会議名称	令和8年度第1回米沢市行政経営市民会議	
開催日時	令和8年4月7日（火）午後3時00分～午後4時00分	
開催場所	置賜総合文化センター203 研修室	
出席者	（委員氏名） （所属団体等）	委員長 神原 祐哉 神原法律事務所 副委員長 中川 恵 山形県立米沢女子短期大学 委 員 伊藤 節子 米沢保育会 委 員 岩崎 令子 米沢観光コンベンション協会 委 員 大竹 茂 山形おきたま農業協同組合 委 員 尾崎 美聡 公益財団法人米沢青年会議所 委 員 岸 せい香 米沢公共職業安定所 委 員 斎藤 美綺 株式会社 nitorito 委 員 須藤 健 米沢信用金庫 委 員 高澤 由美 国立大学法人山形大学 委 員 田中 明子 米沢商工会議所 委 員 舩山 勇幸 連合山形置賜地域協議会
欠席者	委 員 菊地 智 株式会社山形銀行 委 員 小山莉津子 株式会社ニューメディア	
事務局出席者	副市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、観光文化スポーツ部長、建設部長、会計管理者、上下水道部長、市立病院事務局長、教育管理部長、教育指導部長、選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長補佐、総務課長、財政課長、財政課管財主幹、政策企画課長、教育総務課長、財政課長補佐、財政課管財主査、財政課主任、政策企画課長補佐、政策企画課上席専門員、政策企画課企画調整主査、政策企画課主任	
会議次第	1 開 会 2 副市長あいさつ 3 委員長あいさつ 4 議 事 (1) 米沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画改定（案）に係るパブリック・コメントの実施について 5 その他 (1) 地方創生に関する取組について 6 閉 会	
会議資料	次第 委員名簿 資料1-1 令和8年2月18日米沢市行政経営市民会議を受けての対応表 資料1-2 (案)米沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画(第2期) 資料1-3 (案)米沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画(第2期)【概要版】 資料1-4 収益性を意識する公共施設について 資料1-5 延べ利用者1人あたりのコストについて 資料1-6 米沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画改定（案）に係るパブリック・コメントの実施について 参考資料1 米沢市デジタル田園都市構想総合戦略【概要】 参考資料2 【米沢市】地方創生関連 交付金一覧	

会議内容

【1 開会】

省略

【2 副市長あいさつ】

皆さんこんにちは。

年度初めのお忙しい中、令和8年度の第1回の米沢市行政経営市民会議に参加をいただき、誠にありがとうございます。

委員の皆様には常日頃、行政全般にわたり様々な面で、御指導いただいておりますこと、この場をお借りして厚く御礼を申し上げる次第です。

さて令和8年度につきましては、米沢市のまちづくりの指針であります新たなまちづくり総合計画、10か年計画のスタートの年となります。

将来像に「しあわせ 循環 学園都市・よねざわ」を掲げて、本市に関わる全ての人が、幸せを実感できるまちを目指すこととしています。

社会情勢は目まぐるしく変化しており、地方自治体を取り巻く環境、少子高齢化、人口減少、そしてデジタル化などの進展により、様々な課題に行政として直面しているところです。

この中で、米沢市が持続的に発展していくためには、限られた資源を最大限活用して、効率的かつ効果的な行政運営を進めていくことが不可欠です。

行政経営とはまさに、こうした時代の変化に対応して、市民の皆様のニーズに応えながら、市の未来を切り開いていく、羅針盤になるものです。

本日は、公共施設等総合管理計画、個別施設計画の改定及び地方創生に関する取組について説明いたしますので、委員の皆様方から忌憚のない御意見や御提言を賜りたくお願い申し上げます。簡単ではありますが、私のあいさつとさせていただきますと思います。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【3 委員長あいさつ】

皆さんこんにちは。お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。新任の委員の方も加わり、より活発に有意義な議論ができればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【4 議事】

(1) 米沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画改定（案）に係るパブリック・コメントの実施について

（資料1-1～1-6について事務局から説明）

委員長 ただ今の説明につきまして、何か御意見等はございますか。

事務局 資料1-5に訂正があります。

資料1-5の3頁、68番まちなか駐車場の基準のところで収入、純経費、利用者数、延べ利用1人あたりのコストそれぞれに数値が入っておりますが、こちらは0ということで修正お願いします。基準年には、まちなか駐車場はまだできておらず、入力誤りということになります。大変申し訳ございませんでした。

同様に、同じ頁の74番道の駅米沢も、基準の利用者の人数だけ入っておりますが、こちらも0に修正お願いします。大変申し訳ございませんでした。

委員長 資料1-5で、軒並み1人当たりのコストが増加傾向にありますが、その対策はお考えになっているのでしょうか。

事務局

コストが軒並み上がっていることは、市議会でも御指摘いただいている部分になります。物価・人件費の高騰が主な原因と考えていますが、こういった対応がとれるのか、歳出の削減だけでなく、歳入の確保も考えていく必要があるということで、議論にはなっていますが、施設ごとに状況が全く異なるため、一概にはお答えしづらいことを御理解いただければと思います。

委員

資料1-4と1-5はとても重要な内容で、この資料により前回出た疑問の中でクリアになったものがあると思いました。

私自身も、収益性を意識する公共施設として挙げられているものや、その位置付けについて、納得したところです。

この資料はこの場限りということでしたが、市民文化会館は資料1-3で「あり方検討」の位置付けですが、資料1-4と1-5では直接的に使用料を得ていく必要がある施設に挙げられています。もしかしたら収益性を意識することと、維持・廃止等々のあり方を検討することは、一致しないのかなと疑問になりました。

また、道の駅米沢は、発足するときにたくさんの収益を上げていくことを目標に掲げていたように思うので、間接的という言葉は気になりました。

事務局

御意見の通り、収益性を意識することと、今後の対応方針は必ずしもリンクしない部分があります。

市民文化会館は、千人収容できる大規模施設で、本市の規模から考えると、より広く収益を求めていかないと運営が難しいといった考えもあり、今回区分いたしました。

個別施設計画は、今後の維持管理コストも含め、本市の財政状況を踏まえて、本市の規模に合った施設の数、大きさに適正化していこうという計画でもあるので、御意見の通り、必ずしもリンクしない部分があります。

次に、間接的・直接的という部分について、道の駅米沢などは、収益を上げるのはテナントであったり、あとは、道の駅米沢にいらした方が、市内のお店等の利用、消費に繋がる部分もございますので、市の施設の収入としては難しいと見ています。考え方や見方によって、様々見解は異なるかと思いますが、今回の資料では間接的ということで、まとめました。

委員

間接的とは、要するに市が直接運営しているわけではないということですね。

資料1-5を表に出すなら説得力がありますが、出さないのであれば、説明いただいたように、人口規模やコストも含めて考えると、こうした公共施設の維持が非常に難しく、今後どうしていくかを判断しなくてはならないことを市民に共有して、考えていただくことが必要だと思いました。

委員

令和8年度予算が議会で一度否決され、再上程して何とか可決成立した件ですが、この公共施設も関係があったのか分かりませんが、施設関係で大変な持ち出しがある現実の中で、あり方検討も今年度から始まるものもあるので、今後の見通しはどうか、代表して副市長からお願いします。

副市長

この計画は、公共施設の総量の20%を基本的に削減し、人口減少の中にある本市の規模にふさわしい公共施設の量を決めていこうという計画

になっています。

先ほどの予算の否決等々の話については、中学校のエアコン設置と東成中の改修を一緒に進めることは財政的に非常に厳しく、先にエアコン設置を中心に進める方向で今回、東成中の令和 11 年統合に向けた施設整備事業費を当初予算に計上しなかったところ、この点について御指摘がありまして、全ての予算を一度取り下げ、東成中の施設整備事業費を加えて、再上程をさせていただき、議決をいただいたという流れです。

委員長

私からもうひとつ。資料 1-4 と 1-5 は部外秘とのことですが、当会議の議事は公開され、さらにパブコメを募集するということで、パブコメを提出する気概に溢れた方は、この議事に上がっているこの資料は何ですかという話に当然なと思います。

資料に載っているのは数字なわけで、例えば、特定の人のプライバシーに関わるといった配慮は必要ないため、これをあえて部外秘にする必要があるのか疑問に思います。公開した方が良い気がしますが、どういったお考えでこれは部外秘なのでしょう。

事務局

資料 1-4 と 1-5 の、特に収益性という部分について、迷いながら判断したものもあり、例えば収益性が〇だから今後どんどん収益を求める施設だと認識されるといったことを懸念して、この場限りとお伝えしたところですが、この場限りという点は訂正させていただいて、当資料は今回の説明にあたり作成した資料ということを前提に、今後公開にも対応していきます。

委員長

ありがとうございます。伝えてよかったです。

今の趣旨としては、意図と異なる解釈が独り歩きすることを懸念されたという趣旨だと思いますが、そのおそれが無いとは言い切れないものの、数字は数字ですので、公開すべきと考えた次第です。

その他ございますか。

委員

前回の私の意見をたくさん反映して、今回の資料 1-5 を作成いただき本当にありがとうございます。

このように数字で見ると、この施設ってこれぐらいお金がかかっているのだと分かりやすいです。

ただ、次の課題として、この数字以外にあるそれぞれの施設の付加価値をもう少し知りたいと感じました。

例えばコミュニティセンターは憩いの場のイメージがありますが、災害時は命を守るための一番の施設になるので、災害時にこの施設に何人が入れるのだろうか、米沢市の人口に対して、どれぐらいの施設の数や面積が必要なのだろうか、そういった点がもう少し具体的に見えると、この施設は削ってもよいのではといった判断になるのではと感じたところです。

また、食肉センターはコストが非常に高く出ていますが、コストをかけることで米沢市の食の産業を盛り上げることに繋がると思います。それがこの資料を見ただけでは、何となくこれ高いなという感覚になってしまうのは少しもったいないと感じました。

あともうひとつ、収益性を意識する公共施設ということで、他の自治体では、市民と市外の人とで施設利用料に差がある市民割を設けているのをよく見かけるので、そういうところも視野に入れながら、検討いただければと思います。

事務局

貴重な御意見ありがとうございました。

	先ほどの資料 1 の公開について、補足で説明をさせていただきます。 公開に当たり、収益性の部分の市の考え方を注書きで付け加えた形で、公開させていただきますので、御了承をお願いします。
委員長	今の点は、資料 1-4 の説明を資料 1-5 の表自体に注記するという趣旨ですね。
事務局	注意書きについてはこちらで調整検討させていただいて、公開に対応したいと思います。
委員長	せっかくお作りいただいた資料なので、ミスリードになるのではという懸念は理解したのですが、何のために作ったのかを意識していただければと思います。
委員	その他ございますか。 資料 1-4 と 1-5 について、収益性を○×△で表現するのは控えるべきと思います。
委員	数字の公表はよいですが、市民が見る資料で○×△で表現するといかにも、いる・いないといったミスリードに繋がると思うので、慎重にしていきたいです。
委員長	今の御意見、私もそう思います。公共施設のなかには収益性を意識する公共施設が一部あり、その中でも、外側は市が持っているが運営主体は別であるという施設もある。これらの施設を一覧化したときに、収益性という項目名だと、少し言葉足らずで、収益性が有る・無いに見えてしまうので、そこの書きぶりに工夫があれば、ミスリードの可能性を減らせると思います。
委員	私個人的には、資料が前回から比べて非常に分かりやすく、議論の叩き台としてあった方が断然よい資料になっているので、あとは先ほどから話に出ている○×△で表現してよいのかという、さらに一步進んだ論点になると思います。この資料が出てきただけでも、価値はあったと思います。追及しているようになりますが、よく御検討よろしくをお願いします。
委員	その他、ございますか。 資料 1-5 のコミュニティセンターのうち 2 番から 9 番までは、利用者が減少傾向にあります。広幡から窪田に関しては増加しています。これは何か特徴的な、例えばイベント等があったのでしょうか。具体的にもし分かればお聞きしたいです。
事務局	具体的な理由は分かりません。
委員長	写真の添付について、各施設それぞれに写真を追加するのか、それとも特にひどいところを追加するのか、どちらでしょうか。
事務局	写真の準備がこれからなので、今後こういった写真を準備できるかに合わせて判断することになります。計画書の本冊の施設の老朽化の概要に、例えばクラックが入っているとか、具体的な記述をしていますが、文字だけではなく、より状況が分かるように写真を準備できればと思っています。写真については全ての施設ではなく、特に老朽化が分かりやすいところの写真を準備しようと今のところは考えています。
委員長	その他なければ、議事は終了させていただきます。
【 5 その他】	
(1) 地方創生に関する取組について	
(参考資料 1・2 について事務局から説明)	
事務局	ただ今の説明につきまして、何か御意見等はございますか。

(意見等なし)

【6 閉会】
省略